

**製品名: p150 CAF1 ウサギモノクローナル抗体****カタログ番号: AMRe84368**

研究使用のみ

**概要**

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ICC,FC,IP
反応性	人間
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	0.71mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	0.05% アジ化ナトリウム、0.05% 保護タンパク質、50% グリセロールを含む PBS で精製された抗体。
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率	WB 1:1000-1:2000,IHC 1:100-1:200,ICC/IF 1:50-1:200,ICC 1:50-1:200,FC 1:20-1:100,IP 1:20-1:50
分子量	Calculated MW: 107 kDa ; Observed MW: 150 kDa

**抗原情報**

遺伝子名	p150 CAF1
別名	CAF; CAF1; CAF1P150; CHAF1A; DCAF1; hp15; P150;;CAF 1 subunit A
遺伝子 ID	
SwissProt ID	Q13111
免疫原	ヒト CAF1 サブユニット A 由来の合成ペプチド

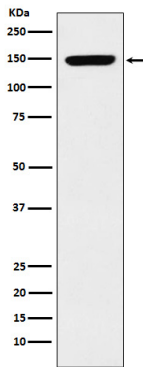
**背景**

CAF-1 複合体の中核成分であり、DNA 複製および DNA 修復におけるクロマチン構築を媒介すると考えられています。in vitro において、複製中の DNA 上にヒストン八量体を組み立てます。CAF-1 はヌクレオソーム組み立て過程の第一段階を担い、新たに合成されたヒストン H3 および H4 を複製中の DNA に運びます。DNA 複製後、ヒストン H2A/H2B はこのクロマチン前駆体に結合し、ヒストン八量体を形成します。増殖細胞において、CAF-1 は新たに合成された cbx タンパク質をヘテロクロマチン DNA 複製フォーカスに運ぶことで、ヘテロクロマチンの維持に関与していると考えられます。

## 研究分野

-

## 画像データ



K562 細胞溶解物中の p150 CAF1 発現のウェスタン プロット解析。

すべてのレーンでは、抗体を 1:1K に希釈して室温で 1 時間使用します。

